

健康生活支援課

健康生活支援課業務概要

健康生活支援課は、疾病関係として結核予防事業、感染症予防事業、エイズ予防対策事業、難病対策事業、原爆被爆者対策事業、肝炎治療特別促進事業について医療、福祉等の関係機関と連携を図りながら業務を行っている。また、食品衛生関係では、流通食品の安全確保、飲食店等の衛生管理指導業務を、生活衛生業務では、理・美容所、旅館等の営業施設、水道、特定建築物、畜舎等の環境衛生、狂犬病予防・動物愛護管理業務など幅広い業務を所掌している。

1 健康危機管理事業

「千葉県健康危機管理基本方針」に基づき、感染症、食中毒、医薬品、飲料水、毒物劇物等により生じる、不特定又は多数の市民の生命、健康を脅かす事態に対し、市町村や医療機関等の関係機関と緊密な連携を図り、健康被害の発生予防、拡大防止、治療体制の確保、原因究明などの各種対策に取り組んでいる。

平成 21 年度に新型インフルエンザ A (H1N1) の発生と流行があり、感染症法に基づく調査および感染拡大防止対策を実施した。また、本年度は、ギニア、リベリア、シエラレオネにおけるエボラ出血熱の患者発生があったが、国内発生には至らなかった。

平常時より地域の警察署、消防署、市町村、医師会、歯科医師会、薬剤師会等で構成された「健康危機管理推進会議」を設置し、連携強化のために年 1 回会議を開催している。

2 結核予防事業

管内の罹患率は、平成 26 年は 17.0 で平成 25 年の 13.3 より増加したが、ここ数年は増減を繰り返しており、10 年スパンで見ると減少傾向にある。

登録者数は 103 名 (25 年は 107 名)、新登録患者数は 47 名 (25 年は 37 名) で前年より増加している。新登録患者のうち、活動性肺結核患者 40 名中で喀痰塗抹陽性患者は 22 名となり 55.0% を占めている。

患者管理においては、保健師による D O T S を実施し、治療の促進、早期の社会復帰及び再発防止に努めた。

また、結核専門医療機関との D O T S 会議を 4 回開催し、患者の治療状況等について意見交換を行い、患者管理・患者支援の推進を図った。

3 感染症予防事業

平成 26 年の 3 類感染症の発生は、0 件であった。

新規事業として、新型インフルエンザ発生時対応訓練を関係機関と合同で実施した。

麻しん対策としては、平成 20 年 4 月から学校における発生時の対応マニュアル「いちほら麻しん発生時対応マニュアル」を作成し、麻しん発生時には麻しん会議を開催することになっている。今年度の発生はなかった。

また、麻しんの発生状況を確実に把握するために、平成 23 年度から PCR による検査診断 (衛生研究所) を導入し、より信頼性の高い発生報告を求めることにしている。

4 エイズ予防対策事業

H I V 検査及び性感染症検査、またこれらに対する電話及び面接相談を実施した。

検査の受検件数は、249 件であった。相談件数は 257 件であり、感染を心配する内容が多かった。

また、性感染症の啓発普及活動として、2 高等学校 (千葉県立市原高等学校及び千葉県立市原八幡高等学校) において講演会を開催すると共に J R 五井駅周辺で関連グッズを配布した。

5 難病対策事業

特定疾患治療研究事業及び特定医療費 (指定難病) 助成制度の受給者数は 1,895 名である。平成 27 年 1 月に「難病の患者に対する医療等に関する法律」(難病法) が施行され、医療費助成の

対象疾患が、56 疾患から 110 疾患に拡大された。

難病相談事業として、医療及び療養生活について、窓口面接及び電話による相談並びに患者・家族のつどいを実施した。また、支援の必要な在宅療養難病患者に対し、家庭訪問による指導を行った。

6 原爆被爆者対策事業

管内在住の原爆被爆者手帳の交付数は、166 件である。原爆被爆者手帳交付者に対して、保健所において年 2 回健康診断を実施し、延 27 名が受診し、医療機関で 38 名が受診した。

7 肝炎治療特別促進事業

平成 20 年度より千葉県肝炎治療特別促進事業として、B 型及び C 型肝炎に対するインターフェロン治療の医療費助成が開始され、平成 22 年度には核酸アナログ製剤治療、平成 23 年度にはインターフェロン 3 剤併用療法が対象となっている。更に平成 26 年 9 月からはインターフェロンフリー治療も助成対象となった。今年度の新規申請は 75 名で、認定は 74 名であった。

8 食品衛生事業

管内の食品営業施設は、許可を要する施設が 4,495 件、許可を要しない施設が 2,289 件の計 6,784 件ある。これらの営業施設に対して、食品の安全性を確保し、食品による健康危害の発生防止を図るために、食品衛生法に基づく食品営業施設の監視指導を 4,870 件実施、食品等の収去検査を 66 検体実施した。

また、営業者及び集団給食従事者に食品衛生知識の普及、啓発をはかるため、衛生講習会を 21 回実施し、1,701 名が受講した。

夏期には、食中毒予防強調期間中の 8 月 6 日(木)に市原市・市原市食品衛生協会と協力し、食品営業者及び市民に対する食中毒予防啓発広報活動を管内一円で実施した。

食中毒は 2 件発生し、腸炎ビブリオとノロウイルスによるものであった。

9 狂犬病予防・犬による危害防止事業及び動物愛護管理事業

狂犬病予防・犬による危害防止事業については、市原市及び獣医師会の協力のもと、犬の登録・狂犬病予注射の促進を図った。

また、犬による危害防止に係る苦情・相談の届出は 346 件あり、飼い主に適正飼養の指導・啓発を行うとともに、放し飼い犬を含む野犬の捕獲等を行い、危害防止に努めた。

動物愛護管理事業においては、動物愛護精神の普及・啓発を図るため、6 月の動物の正しい飼い方推進月間、11 月の動物による危害防止推進月間などを中心に、犬だけでなく、愛護動物全般における正しい飼い方・危害防止について広報活動を行った。

本事業に係る相談・苦情は 1,418 件あり、これを受け、指導・助言を行った。その中には、事故等により負傷した動物の収容・保護や、飼えなくなった犬・ねこの引き取りが含まれ、負傷動物の収容数は 21 頭、引取り頭数は 142 頭であった。

さらに、動物取扱業・特定動物飼養施設について、立入検査を 70 件実施し、動物取扱業者については、動物取扱責任者研修を実施した。

10 環境衛生事業

環境衛生関係営業施設数は 920 件であり、各営業施設に対し、自主管理の徹底を促すとともに計画的・効率的な立入検査を実施し、衛生水準の確保に努めた。

立入検査実施件数は 316 件である。また、これらの営業施設で構成する市原市地区生活衛生同業組合連絡協議会の育成指導に努めた。

水道法の改正により、水道施設への指導業務は、25 年度から市が実施することになったので、当所で管轄する水道施設は、市営水道のみとなった。

特定建築物数は 65 件で、その内立入検査対象施設 52 件あり、全てに立入検査を実施した。

遊泳用プール施設 11 施設あり、立入検査対象施設全てに検査指導を行った。
温泉利用施設は 9 件あり、8 件に立入検査を実施した。

1 健康危機管理事業

(1) 会議等

表 1 - (1) 会議開催状況

実施日 及び場所	会議名	内 容	対 象	参加人員
平成 26 年 12 月 8 日 帝京大学 ちば総合 医療セン ター	市原地域 新型インフ ルエンザ発 生時対応訓 練に係る 会議	新型インフルエンザ対応の各訓練参加機関の意見交換について	市原市医師会、市原市歯科医師会、市原市薬剤師会、中核病院、市原市、市原健康福祉センター	21 人
平成 27 年 1 月 21 日 市原市急 病センター	平成 26 年度市原 健康福祉 センター 地域健康 危機管理 推進会議	市原市新型インフルエンザ等対策行動計画の概要について 新型インフルエンザ発生時の市原地域の医療体制について	市原市、市原市医師会、市原市歯科医師会、市原市薬剤師会、千葉県看護協会市原地区部会、中核病院、市原市消防局、市原警察署、市原健康福祉センター	11 人

(2) 研修会等

表 1 - (2) 健康危機管理研修会等実施状況

実施日	場 所	テ ー マ 講 師	対 象	参加人員
平成 26 年 12 月 8 日 帝京大学 ちば総合 医療セン ター	帝京大学 ちば総合 医療セン ター	「新型インフルエンザに備えての医療機関の対応」 講師：千葉大学医学部附属病院 感染症管理治療部部長 猪狩英俊先生	上記同様	21 人

2 結核予防事業

(1) 管内結核患者登録者数の動向

表2-(1) 登録者数の年次推移

(単位:人)

区分		年						
		平成5年	平成10年	平成15年	平成20年	平成24年	平成25年	平成26年
管内人口		270,332	280,411	280,001	280,199	278,623	277,476	276,462
新登録患者総数		95	98	76	49	49	37	47
登録者総数		297	204	208	131	112	107	103
結核死亡者数	管内	2	5	6	3	1	1	7
	千葉県	83	109	52	49	51	85	55
結核死亡率 (人口10万対)	管内	0.73	1.8	2.1	1.07	0.36	0.4	2.5
	千葉県	1.7	2.2	1.0	0.94	1.0	1.4	1.1
罹患率 (人口10万対)	管内	35.1	31.7	27.1	17.5	17.5	13.3	17.0
	千葉県	27.4	25.6	22.9	17.7	14.0	14.9	13.8
有病率 (人口10万対)	管内	38.5	41.7	27.1	11.4	10.0	8.3	9.4
	千葉県	34.3	28.2	21.2	14.1	8.8	9.7	8.8

(注)①人口は各年10月1日千葉県常住人口による。

②千葉県のデータには千葉市を除く。平成26年は速報値

③新登録患者及び登録者数は、無症状病原体保有者・疑似症患者を除く。

(2) 新登録患者数

表2-(2) 新登録患者数(活動性分類別)

(単位:人)

区分	総数	活動性肺結核				活肺外活動性核	罹患率 (10万対)	肺塗抹の割合 (%) (うち陽性)	無症状病原体保有者 (別掲) (潜在性結核感染症)	疑似症患者 (別掲)	結核死亡者の死体 (別掲)	結核死亡疑いの死体 (別掲)
		計	喀痰塗抹性	菌陽性	菌陰性							
平成24年	49	40	21	2	17	9	17.5	52.5	22	-	-	-
平成25年	37	33	20	10	3	4	13.3	60.6	20	-	-	-
平成26年	47	40	22	12	6	7	17.0	55.0	19	-	-	-

(3) 年末現在登録者数(活動性分類別)

表2-(3) 年末現在登録者数(活動性分類別)

(単位:人)

年 市町村	区分	総 数	活動性肺結核				活肺 外結 動性 核	不 活 動 性 結 核	不 明	有 病 率 (人口10万対)	塗 抹 陽 性 患 者 の 占 め る 割 合 %	無 症 状 病 原 体 保 有 者 (別 掲)	疑 似 症 患 者 (別 掲)
			計	喀 痰 塗 抹 性	そ の 他 結 核 性	菌 陽 性 他							
平成24年		112	23	11	1	11	5	50	34	10.0	9.8	49	-
平成25年		107	23	2	1	20	0	56	28	8.3	1.8	63	-
平成26年		103	20	10	6	4	6	41	36	9.4	9.3	55	-

(4) 新登録患者数(年齢階級別)

表2-(4) 新登録患者数(年齢階級別)

(単位:人)

年 市町村	区分	総 数	0	5	10	15	20	30	40	50	60	70
			4	9	14	19	29	39	49	59	69	歳 以上
平成24年		49	-	-	-	1	2	4	3	9	10	20
平成25年		37	-	-	-	-	2	2	2	4	8	19
平成26年		47	0	0	0	1	4	5	7	6	7	17

(5) 年末現在登録者数(年齢階級別)

表2-(5) 年末現在登録者数(年齢階級別)

(単位:人)

年 市町村	区分	総 数	0	5	10	15	20	30	40	50	60	70
			4	9	14	19	29	39	49	59	69	歳 以上
平成24年		112	-	1	-	2	8	12	15	18	20	36
平成25年		107	-	-	-	3	10	12	11	24	23	24
平成26年		103	1	0	0	1	7	12	11	19	22	30

(6) 管理検診実施状況

表2-(6)管理検診実施状況

(単位:人)

区分 年度	該当人員	受診者数	エックス線 検査数	喀痰検査数		健診結果			要医療率 (%)	受診率(%)
				塗抹	培養	要医療	要観察	観察不要		
平成24年度	277	184	184	41	34	2	114	69	1.2	66.4
平成25年度	225	161	161	38	33	0	129	32	0	71.6
平成26年度	276	196	196	32	32	1	133	62	0.5	71.0
保健所		51	51	0	0	0	36	15		
委託分		105	105	32	32	1	65	39		
その他		40	40	0	0	0	32	8		

(7) 結核接触者健康診断実施状況

ア 家族健診実施状況

表2-(7)-ア家族健診実施状況

(単位:人)

区分 年度	対象者数	受診者数	ツ反検査数	QFT検査数	QFT検査数(再掲) ツ反かつ	エックス線件数	喀痰検査数		健診結果				要医療率(%)	受診率(%)
							塗抹	培養	要医療	要観察	潜在性結核感染症	異常なし		
平成24年度	122	107	1	20	-	80	-	-	2	1	2	97	1.64	87.7
平成25年度	91	73	3	18	3	44	2	2	-	-	4	69	0	80.2
平成26年度	136	129	1	28	0	109	-	-	-	-	8	121	0	94.8
保健所		62	-	26	-	44	-	-	-	-	8	54	0	
委託分		6	1	2	-	4	-	-	-	-	-	6	0	
その他		61	-	-	-	61	-	-	-	-	-	61	0	

イ 接触者健診実施状況

表2-(7)-イ接触者健診実施状況

(単位:人)

区分 年度	該当人員	受診者数	ツ反検査数	QFT検査数	ツ反かつ QFT検査数 (再掲)	エックス線 件数	喀痰検査数		健診結果				要医療率(%)	受診率(%)
							塗抹	培養	要医療	要観察	潜在性結核感染症	異常なし		
平成24年度	694	581	11	253	-	290	-	-	-	8	18	540	-	83.7
平成25年度	554	489	3	173	-	222	11	11	1	4	10	457	0.18	88.3
平成26年度	530	453	0	220	-	267	8	8	-	1	13	439	0	85.5
保健所		335	-	199	-	149	-	-	-	-	13	322	0	
委託分		96	-	21	-	96	8	8	-	-	-	96	0	
その他		22	-	-	-	22	-	-	-	1	-	21	0	

(8) 結核医療費公費負担診査状況

表2-(8)-ア 結核医療費公費負担診査状況(37条の1)

(単位:件)

区分 年度	総 数			被用者保険						国民健康保険			老人保健法			生活保護法			そ の 他		
				本 人			家 族														
	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格
平成24年度	52	52	-	6	6	-	-	-	-	14	14	-	17	17	-	10	10	-	5	5	-
平成25年度	52	52	-	-	-	-	1	1	-	20	20	-	10	10	-	14	14	-	7	7	-
平成26年度	75	75	-	6	6	-	4	4	-	25	25	-	25	25	-	15	15	-	-	-	-

表2-(8)-イ 結核医療費公費負担診査状況(37条の2)

(単位:件)

区分 年度	総 数			被用者保険						国民健康保険			老人保健法			生活保護法			そ の 他		
				本 人			家 族														
	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格
平成24年度	99	99	-	27	27	-	2	2	-	38	38	-	21	21	-	10	10	-	1	1	-
平成25年度	85	85	-	26	26	-	3	3	-	21	21	-	17	17	-	16	16	-	2	2	-
平成26年度	80	80	-	24	24	-	3	3	-	31	31	-	14	14	-	8	8	-	0	0	-

(9)就業制限通知及び入院勧告並びに入院措置数
表2-(9)-ア 就業制限通知数 (単位:件)

区分	総数
年度	
平成26年度	25

表2-(9)-イ 入院勧告数 (単位:件)

区分	入院勧告数 (応急入院)	入院延長通知数 (初回/延長)
年度		
平成26年度	22	20/31

表2-(9)-ウ 入院措置数 (単位:件)

区分	入院措置数
年度	
平成26年度	0

(10)ツベルクリン反応検査・QFT検査実施状況
表2-(10)-ア ツベルクリン反応検査実施状況 (単位:人)

年度	ツ反検査数			発赤径			被検者の年齢			
	保健所	委託分	その他	陰性	30mm未満	30mm以上	0~5歳	6~29歳	30~49歳	50以上歳
平成26年度	0	1	-	-	1	-	1	-	-	-

表2-(10)-イ QFT検査実施状況

年度	QFT検査数	結果			
		陽性	判定保留	陰性	判定不可
平成26年度	248	21	20	207	0

(11)エックス線検査実施状況
表2-(11) エックス線検査実施状況 (単位:人)

年度	総数		接触者		管理	
	保健所	委託分	保健所	委託分	保健所	委託分
平成24年度	351	182	289	81	62	101
平成25年度	224	161	180	90	44	71
平成26年度	244	205	193	100	51	105

(12) 定期結核健康診断予防接種実施状況

表2-(12) 定期結核健康診断予防接種実施状況

(単位:人)

項目 年度区分		対象者数	受診者数	受診率%	B C G 接種者数	報告数 ツホ現象	間接撮影者数	直接撮影者数	喀痰検査者数	発見患者数	発病の恐れがある者
平成24年度		72,115	15,191	21.1	1,923	-	9,789	5,296	0	0	0
平成25年度		79,424	20,520	25.8	1,716	-	12,423	8,097	13	1	0
平成26年度		79,162	18,119	22.9	2,010	3	11,020	6,909	381	3	0
内 訳	高等学校以上	996	993	99.6	-	-	948	45	0	0	0
	施設	1,355	1,268	93.5	-	-	595	673	2	1	0
	市町村	69,481	8,758	12.6	2,010	3	6,649	2,109	378	0	0
	事業所	7,330	7,100	96.8	-	-	2,828	4,082	1	2	0

(注)教職員及び県職員については事業所として計上する。

3 感染症予防事業

(1) 1類感染症発生状況

表3-(1) 1類感染症発生状況

年	疾患名	人数	市
平成26年	-	-	-

(2) 2類感染症発生状況(結核は除く)

表3-(2) 2類感染症発生状況

(単位:人)

年	疾患名	人数	市
平成26年	-	-	-

(3) 3類感染症発生状況

表3-(3) 3類感染症発生状況

(単位:人)

年	病 類	総 数	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性 大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
平成24年		3	-	-	3	-	-
平成25年		5	-	2	3	-	-
平成26年		0	-	-	-	-	-

(4) 1類感染症及び2類感染症並びに3類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況

表3-(4)-ア 1類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況

(単位:調査(人)、検査(件))

年 度	病 類	疾 患 名	調 査	検 査 (依 頼)
平成26年度		-	-	-

表3-(4)-イ 2類感染症発生に伴う健康調査実施状況 (結核は除く)

(単位:調査(人)、検便(件))

年 度	病 類	疾 患 名	調 査	検 査 (依 頼)
平成26年度		-	-	-

(注) SARSについては、「疑似症状患者」及び「疑い例」を含む。

表3-(4)-ウ 3類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況

(単位:調査(人)、検便(件))

年 度	病 類	総 数		コレラ		細菌性 赤痢		腸管出血 性大腸菌 感染症		腸チフス		パラ チフス		菌陽性 者数
		調 査	検 便	調 査	検 便	調 査	検 便	調 査	検 便	調 査	検 便	調 査	検 便	
平成24年度		9	6	-	-	-	-	9	6	-	-	-	-	0
平成25年度		18	18	-	-	8	8	10	10	-	-	-	-	1
平成26年度		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0

(5) 4類感染症発生状況

ア 全数把握対象感染症

表3-(5)-ア 4類感染症病発生状況

(単位：人)

疾患名		平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
1	E型肝炎	-	-	1
2	A型肝炎	-	-	-
3	黄熱	-	-	-
4	Q熱	-	-	-
5	狂犬病	-	-	-
6	炭疽	-	-	-
7	鳥インフルエンザ	-	-	-
8	ボツリヌス症	-	-	-
9	マラリア	-	-	-
10	野兔病	-	-	-
11	ウエストナイル熱	-	-	-
12	エキノコックス症	-	-	-
13	オウム病	-	-	-
14	オムスク出血熱	-	-	-
15	回帰熱	-	-	-
16	キャサヌル森林病	-	-	-
17	コクシジオイデス症	-	-	-
18	サル痘	-	-	-
19	腎症候性出血熱	-	-	-
20	西部ウマ脳炎	-	-	-
21	ダニ媒介脳炎	-	-	-
22	つつが虫病	-	-	1
23	デング熱	-	-	-
24	東部ウマ脳炎	-	-	-
25	ニパウイルス感染症	-	-	-
26	日本紅斑熱	-	-	-
27	日本脳炎	-	-	-
28	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-
29	Bウイルス病	-	-	-
30	鼻疽	-	-	-
31	ブルセラ症	-	-	-
32	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
33	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
34	発しんチフス	-	-	-
35	ライム病	-	-	-
36	リッサウイルス感染症	-	-	-
37	リフトバレー熱	-	-	-
38	類鼻疽	-	-	-
39	レジオネラ症	1	1	2
40	レプトスピラ症	-	-	-
41	ロッキー山紅斑熱	-	-	-
42	重症熱性血小板減少症候群	-	-	-
43	チクングニア熱	-	-	-

(6) 5類感染症発生状況

ア 感染症発生動向調査事業に基づく全数把握対象感染症

表3-(6)-ア 5類感染症発生状況

(単位:人)

疾患名		平成24年	平成25年	平成26年
1	アメーバ赤痢	1	2	3
2	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)	-	-	-
3	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎、リフトバレー熱を除く)	-	2	5
4	クリプトスポリジウム症	-	-	-
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	-
6	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	1
7	後天性免疫不全症候群	1	4	3
8	ジアルジア症	-	-	-
9	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-
10	先天性風しん症候群	-	-	-
11	梅毒	-	4	4
12	破傷風	-	-	1
13	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-
14	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-
15	風しん	-	15	-
16	麻しん(成人麻しんを含む)	1	1	1
17	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	1	-
18	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-
19	侵襲性肺炎球菌感染症	-	3	3

イ 感染症発生動向調査事業に基づく定点報告状況

1) 患者定点

表3-(6)-イ-1)-(ア) 患者定点医療機関数

インフルエンザ	小児科	眼科	性感染症	基幹
11	7	2	2	1

表3 - (6) -イ-1) - (イ) 定点把握対象疾患状況

(単位：人)

	疾 患 名	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
1	インフルエンザ(鳥インフルエンザを除く)	5,118	2,891	4405
2	性器クラミジア感染症	-	11	23
3	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	8	11
4	RSウイルス感染症	37	49	25
5	咽頭結膜熱	69	64	30
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	539	1,082	186
7	感染性胃腸炎	2,565	2,761	2340
8	急性出血性結膜炎	2	1	-
9	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-
10	細菌性髄膜炎	7	6	3
11	水痘	285	243	369
12	性器ヘルペスウイルス感染症	-	5	7
13	尖圭コンジローマ	-	1	2
14	手足口病	134	513	101
15	伝染性紅斑	36	25	53
16	突発性発しん	118	146	119
17	百日咳	56	39	5
18	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	-	-	-
19	ヘルパンギーナ	194	168	213
20	マイコプラズマ肺炎	49	5	3
21	無菌性髄膜炎	9	7	11
22	薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-
23	流行性角結膜炎	70	125	140
24	流行性耳下腺炎	116	205	132
25	淋菌感染症	-	3	7
26	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-

2) 病原体定点

表3-(6)-イ-2) 病原体定点医療機関及び検体提供数

区分	インフルエンザ	小児科	眼科	基幹
医療機関数	2	-	-	1
検体提供数	17	-	-	9

(7) 4類感染症及び5類感染症発生に伴う健康調査実施状況

表3-(7)-ア 4類感染症健康調査実施状況

(単位：人)

区分	疾患名	調査
平成26年度	E型肝炎	1

表3-(7)-イ 5類感染症健康調査実施状況

(単位：人)

区分	疾患名	調査
平成26年度	感染性胃腸炎 5か所	178

(8) 管外での感染症発生(疑いを含む)に伴う調査状況及び検便実施状況

表3-(8) 管外での感染症発生(疑いを含む)に伴う調査数及び検便実施数

(単位：調査人、検便件)

区分 年度	総数	管外発生(検疫通報除く)の伴う感染症調査数	自主調査申告による	検疫接触者及び同行者	検便実施者数	検出菌			
						コレラ	赤痢	O157	その他
平成24年度	3	3	-	-	-	-	-	-	-
平成25年度	1	1	-	-	1	-	-	1	-
平成26年度	2	2	-	-	2	-	-	-	-

(9) 感染症関係予防啓発活動実施状況

学校、社会福祉施設等の感染症予防対策の充実を図るため、学校、社会福祉施設等の職員を対象に研修会を実施した。

表3-(10) 感染症研修会実施状況

実施日	場 所	活 動 内 容	テ ー マ 講 師	対 象	参加 人員
平成26年 7月3日	市原市市民会館	講演	「学校等における感染発生と対応 について」 健康生活支援課職員	管内保育士・幼稚園教諭等	60人
平成27年 3月16日	市原市市民会館	講演	「社会福祉施設等における感染症 対策について」 千葉感染制御研究所 所長 「ノロウイルス・インフルエンザに ついて」 健康生活支援課職員	管内社会福祉施設 等職員	46人

(10) その他

表3-(11) インフルエンザ様疾患届出状況* (単位：件)

区 分	届出施設数	届出患者数	措 置			
			学級閉鎖数	学年閉鎖数	休 校	その他
平成24年度	52	493	44	9	-	-
平成25年度	87	961	87	24	-	-
平成26年度	36	888	56	23	-	-
保 育 所	-	-	-	-	-	-
幼 稚 園	1	19	1	-	-	-
小 学 校	24	672	44	18	-	-
中 学 校	11	197	11	5	-	-
高 等 学 校	-	-	-	-	-	-

4 エイズ予防事業

(1) エイズ予防啓発活動実施状況

ア 講演会・講習会等開催状況

表4-(1)-ア 講演会・講習会等実施状況 (単位：人)

実施日	場 所	活 動 内 容	テ ー マ	対 象	参 加 人員
平成26年 11月6日	千葉県立市原高等学校	講演会	「大切にしたい ところ からだ」	高校生	377
平成26年 12月1日	千葉県立市原八幡高等学校	講演会	「大切にしたい ところ からだ」	高校生	237

イ 街頭キャンペーン等開催状況

表4-(1)-イ 街頭キャンペーン等開催状況

月 日	主 な 内 容
平成26年11月25日	JR五井駅周辺にてエイズ予防啓発グッズを配布(200部) 幟旗の掲示 ストップエイズジャンパー着用

(2) エイズ相談受付状況

表4-(2) エイズ相談受付状況

(単位：件)

年度 年齢階級		性別	相談方法	男	女	小計	合計
平成 24 年度		電話相談	2	3	5		
		来所相談	192(34)	111(18)	303(52)	308	
		その他	-	-	-		
平成 25 年度		電話相談	0	1	1		
		来所相談	182(30)	108(22)	290(52)	291	
		その他	-	-	-		
平成 26 年度		電話相談	6	2	8		
		来所相談	165(33)	84(21)	249(54)	257	
		その他	-	-	-		
年 階 級	～19 歳	電話相談	0	0	0		
		来所相談	6	6	12	12	
		その他	-	-	-		
	20 歳～29 歳	電話相談	0	0	0		
		来所相談	54	35	89	89	
		その他	-	-	-		
	30 歳～39 歳	電話相談	0	0	0		
		来所相談	48	21	69	69	
その他		-	-	-			
40 歳～49 歳	電話相談	0	0	0			
	来所相談	25	15	40	40		
	その他	-	-	-			
50 歳～59 歳	電話相談	0	0	0			
	来所相談	12	6	18	18		
	その他	-	-	-			
60 歳～69 歳	電話相談	0	0	0			
	来所相談	17	1	18	18		
	その他	-	-	-			
70 歳～	電話相談	0	0	0			
	来所相談	3	0	3	3		
	その他	-	-	-			
不 明	電話相談	6	2	8			
	来所相談	0	0	0	8		
	その他	-	-	-			

*()内は、夜間相談実施件数

(3) HIV抗体検査等性感染症検査

表4-(3)-ア HIV抗体検査等性感染症検査実施状況 (単位:件)

年度	HIV抗体検査			クラミジア抗体検査			梅毒血清検査		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平成 24 年度	190	109	299	160	102	262	164	102	266
平成 25 年度	182	108	290	162	95	257	163	98	261
平成 26 年度	165	84	249	153	80	233	155	83	238

表4-(3)-イ 肝炎検査実施状況

	B型肝炎抗原検査				C型肝炎抗体検査			
	男	女	計	陽性数	男	女	計	陽性数
平成 24 年度	164	111	275	2	161	110	271	2
平成 25 年度	166	98	264	1	165	99	264	4
平成 26 年度	159	85	244	2	159	84	243	0

(4) エイズ相談内容の状況

表4-(4) エイズ相談内容の状況

相談者の区分	男性	女性	合計
同性間性行為による感染を心配する者	17	2	19
異性間性行為による感染を心配する者	127	56	183
その他の性行為による感染を心配する者	10	1	11
輸血による感染を心配する者	2	1	3
家族、友人の感染を心配する者	8	4	12
母子感染を心配する者	1	2	3
医療機関内感染を心配する者	2	15	17
日常生活での感染を心配する者	14	7	21
一般的なエイズに関する知識、情報を求める者	21	13	34
その他	3	5	8
合計	205	106	311
相談者のうち外国人の人数	3	3	6

相談内容	男性	女性	合計
エイズウイルス・疫学に関すること	6	4	10
患者・感染者の発生状況に関すること	5	0	5
症状・発生機序に関すること	19	3	22
検査に関すること	52	18	70
診断(方法)・治療に関すること	10	3	13
感染経路に関すること	17	11	28
社会の差別や偏見に関すること	0	0	0
行政のエイズ対策に関すること	0	0	0
エイズ予防法に関すること	0	0	0
その他	29	19	48
合計	138	58	196

5 特定疾患対策事業

(1) 特定疾患治療研究事業及び特定医療費(指定難病)助成制度受給者状況

表5-(1) 特定疾患治療研究事業及び特定医療費(指定難病)助成制度受給者数
(単位:人)

対象疾患名		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
総 数		1,742	1,846	1,878
1	ヘーチェット病	44	50	54
2	多発性硬化症	30	34	36
3	重症筋無力症	39	40	44
4	全身性エリテマトーデス	153	161	164
6	再生不良性貧血	18	19	20
7	サルコイドーシス	55	54	56
8	筋萎縮性側索硬化症	19	22	20
9	強皮症・皮膚筋炎・多発性筋炎	83	79	84
10	特発性血小板減少性紫斑病	69	74	62
11	結節性動脈周囲炎	25	30	27
12	潰瘍性大腸炎	303	323	338
13	大動脈炎症候群	9	10	10
14	ビュルガー病	19	18	16
15	天疱瘡	8	7	9
16	脊髄小脳変性症	44	42	41
17	クローン病	81	80	80
19	悪性関節リウマチ	30	30	27
20	パーキンソン病関連疾患	194	223	242
21	アミロイドーシス	4	5	5
22	後縦靭帯骨化症	93	91	92
23	ハンチントン病	4	4	2
24	モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	37	36	35
25	ウエゲナー肉芽腫症	2	3	3
26	特発性拡張型(うつ血型)心筋症	26	30	33
27	多系統萎縮症	17	18	20
28	表皮水疱症	-	-	-
29	膿胞性乾癬	5	5	4
30	広範脊柱管狭窄症	1	2	2
31	原発性胆汁性肝硬変	30	33	31
33	特発性大腿骨頭壊死症	30	31	26
34	混合性結合組織病	31	32	32
35	原発性免疫不全症候群	2	3	4
36	特発性間質性肺炎	17	22	22
37	網膜色素変性症	81	90	88
38	プリオン病	3	3	2
39	肺動脈性肺高血圧症	4	4	4
40	神経繊維種症 I型 II型	11	12	8
41	亜急性硬化性全脳炎	-	-	-
42	ハットキアリ症候群	-	-	-
43	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	2	3	2
44	ライソゾーム病(ファブリー病含む)	4	5	5
45	副腎白室シストロフィー	-	-	-
46	家族性高コレステロール血症 (ホモ結合体)	-	-	-

対象疾患名		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
47	脊髄性筋萎縮症	-	1	2
48	球脊髄性筋萎縮症	4	4	3
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	9	11	15
50	肥大型心筋症	2	2	5
51	拘束型心筋症	-	-	-
52	ミトコンドリア病	5	5	6
53	リンパ管筋腫症(LAM)	1	1	1
54	重症多発滲出性紅斑(急性期)	1	-	1
55	黄色靭帯骨化症	9	9	10
56	下垂体機能障害	76	82	85
	1 PRL分泌異常症	(14)	(15)	(17)
	2 コナトトロピン分泌異常症	(3)	(2)	(2)
	3 ADH分泌異常症	(5)	(4)	(5)
	4 下垂体性TSH分泌異常症	(-)	(-)	(-)
	5 クッシング病	(1)	(2)	(3)
	6 先端巨大症	(12)	(13)	(12)
	7 下垂体機能低下症	(41)	(46)	(46)

表5-(2)特定疾患治療研究事業受給者状況

(単位:人)

対象疾患名		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
総数		1,742	1,846	2
5	スモン	-	-	-
18	難治性肝炎のうちの劇症肝炎	1	1	-
32	重症急性膵炎	4	2	2

表5-(3)特定医療費(指定難病)助成制度受給者数

(単位:人)

対象疾患名		平成 26 年度
総数		15
15	封入体筋炎	1
26	HTLV-1関連脊髄症	1
45	好酸球性多発血管炎肉芽腫症	2
53	シェーグレン症候群	5
61	自己免疫性溶血性貧血	1
66	IgA腎症	2
76	多発性嚢胞腎	2
98	好酸球性消化管疾患	1

(2) 特定疾患重症患者認定者数

表5-(4) 特定疾患重症患者認定者数

(単位:人)

年度 / 市町村別		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
疾患名				
総 数		217	228	228
1	ヘーチェット病	4	4	2
2	多発性硬化症	10	12	12
3	重症筋無力症	1	1	1
4	全身性エリテマトーデス	9	9	10
5	スモン	-	-	-
6	再生不良性貧血	-	-	-
7	サルコイドーシス	5	5	5
8	筋萎縮性側索硬化症	14	17	15
9	強皮症・皮膚筋炎・多発性筋炎	2	4	4
10	特発性血小板減少性紫斑病	-	-	1
11	結節性動脈周囲炎	3	3	2
12	潰瘍性大腸炎	-	-	-
13	大動脈炎症候群	-	-	-
14	ピュルカー病	-	-	-
15	天疱瘡	-	-	-
16	脊髄小脳変性症	22	21	20
17	クローン病	1	1	1
18	難治性肝炎のうちの劇症肝炎	1	1	-
19	悪性関節リウマチ	11	11	10
20	パーキンソン病関連疾患	30	33	39
21	アミロイドーシス	1	2	2
22	後縦靭帯骨化症	16	18	18
23	ハンチントン病	2	2	1
24	モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	7	7	5
25	ウェケナー肉芽腫症	-	-	-
26	特発性拡張型(うつ血型)心筋症	4	5	7
27	多系統萎縮症	7	7	7
28	表皮水疱症	-	-	-
29	膿胞性乾癬	-	-	-
30	広範脊柱管狭窄症	1	1	-
31	原発性胆汁性肝硬変	1	1	1
32	重症急性膵炎	4	2	2
33	特発性大腿骨頭壊死症	-	-	-
34	混合性結合組織病	1	1	1
35	原発性免疫不全症候群	-	-	-
36	特発性間質性肺炎	2	2	2
37	網膜色素変性症	45	47	48
38	プリオン病	3	3	1
39	肺動脈性肺高血圧症	1	1	1
40	神経繊維種症 I型 II型	-	-	-
41	亜急性硬化性全脳炎	-	-	-
42	ハットキアリ症候群	-	-	-
43	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	1	1	1
44	ライソゾーム病(ファブリー病含む)	1	1	2
45	副腎白質ジストロフィー	-	-	-

対象疾患名		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
46	家族性高コレステロール血症 (ホモ結合体)	-	-	-
47	脊髄性筋萎縮症	-	-	2
48	球脊髄性筋萎縮症	2	2	1
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	1	1	-
50	肥大型心筋症	-	-	1
51	拘束型心筋症	-	-	-
52	ミトコンドリア病	2	2	2
53	リンパ脈管筋腫症(LAM)	-	-	-
54	重症多発滲出性紅斑(急性期)	1	-	-
55	黄色靭帯骨化症	-	-	1
56	下垂体機能障害	-	-	-
	1 PRL分泌異常症	(-)	(-)	(-)
	2 コナトトロピン分泌異常症	(-)	(-)	(-)
	3 ADH分泌異常症	(-)	(-)	(-)
	4 下垂体性TSH分泌異常症	(-)	(-)	(-)
	5 クッシング病	(-)	(-)	(-)
	6 先端巨大症	(-)	(-)	(-)
	7 下垂体機能低下症	(-)	(-)	(-)

(注) 平成15年10月1日から特定疾患治療研究費及び重症患者認定対象疾患として、パーキンソン病関連疾患は進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病である。また、多系統萎縮症とは線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイ・ドレーガー症候群をいう。

(3) 特定疾患特別介護手当支給状況

表5-1(5) 特定疾患特別介護手当支給状況

(単位:件)

区分	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
特定疾患特別介護手当支給	件数	8	7	7

(4) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

表5-1(6) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

(単位:件)

年 度	総 数
平成24年度	7
平成25年度	6
平成26年度	9

(5) 難病相談事業

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

表5-(5)-ア 在宅療養支援計画策定・評価会議実施状況

区分 年度	支援計画 策定 実施件数	支援計画 評価 実施件数	構 成 員					
			専門 医	家庭 医	看護 師	理 学 療 法 士	保 健 師	そ の 他
平成24年度	13	1	8	3	34	2	32	97
平成25年度	11	4	6	-	20	-	11	76
平成26年度	2	1	1	-	9	1	2	13

イ 相談内容

表5-(5)-イ 相談内容

(単位:人)

内 容	平成24年度	平成25年度	平成26年度
相談者数(延)	225	142	5
申請等	40	-	-
医療	14	67	3
家庭看護	126	71	2
福祉制度	5	-	-
就業	3	-	-
就学	0	-	-
食事・栄養	4	-	-
歯科	0	-	-
その他	33	4	-

ウ 医療相談事業

表5-(5)-ウ 医療相談事業実施状況

疾患名	月日	主な内容	参加者数 (延)
脊髄小脳変性症及び 他系統萎縮症	平成26年 9月18日	講演会及び相談会 講師:医師 内容:「神経難病の治療と日常生活について」	34名

エ 訪問診療等事業

表5-(5)-エ 訪問診療等事業実施状況 (単位:人)

分 年度	区	指導人数		実施方法	従事者人数						
		実 人員	延 人員		専 門 医	主 治 医	看 護 師	理 学 療 法 士 等	保 健 師	そ の 他	
平成24年度		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成25年度		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成26年度		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注)訪問リハビリテーションも含む。

オ 訪問指導事業

表5-(5)-オ 訪問指導事業実施状況 (単位:件)

疾 患 名		平成24年度	平成25年度	平成26年度
総 数		185	82	32
2	多発性硬化症	4	1	-
3	重症筋無力症	-	1	-
8	筋萎縮性側索硬化症	40	41	20
10	特発性血小板減少性紫斑病	1	1	-
16	脊髄小脳変性症	8	7	9
20	パーキンソン病関連疾患	15	11	-
22	後縦靭帯骨化症	-	1	-
26	突発性拡張型(うっ血型)心筋症	-	-	1
27	多系統萎縮症	6	2	-
34	混合性結合組織病	-	-	1
36	特発性間質性肺炎	-	2	-
37	網膜色素変性症	3	4	-
52	ミトコンドリア症	1	-	-
54	重症多形滲出性紅斑	-	-	1

カ 訪問相談事業

ア) 訪問相談員派遣状況

表5-(5)-カ-ア) 訪問相談員派遣状況

年度	区分	人 数	回 数	実人員	延人員
平成24年度		9	60	13	60
平成25年度		9	54	14	54
平成26年度		8	51	8	51

イ) 訪問相談員育成事業

表5-(5)-カー イ) 訪問相談員育成実施状況

区分 年度	月 日	主 な 内 容	職 種	人 数
平成 24 年度	4 月 3 日	事例検討会	保健師、看護師 栄養士、介護経験者、 その他(患者会)	7 人
平成 25 年度	4 月 11 日	事例検討会	保健師、看護師 管理栄養士、臨床心理 士、介護経験者、 その他(患者会代表)	7 人
平成 26 年度	4 月 28 日	事例検討会	保健師、看護師 管理栄養士、臨床心理 士、介護経験者、 その他(患者会代表)	6 人

6 原爆被爆者対策事業

(1) 被爆者手帳交付状況

表6-(1) 被爆者手帳交付状況

(単位:件)

区分 年度	前年度末 手帳交付数	新規	転入	転出	死亡	当該年度末 手帳交付数
平成24年度	173	-	1	2	4	168
平成25年度	168	-	4	1	2	169
平成26年度	169	-	3	2	4	166

(注)被爆者健康診断受診者証交付数は()を設けて再掲する。

(2) 被爆者健康診断実施状況

表6-(2) 被爆者健康診断実施状況

(単位:人)

年度	施設	対象者数	受診者数	受診率(%)	要精検者数	
平成24年度	保健所	前期	171	19	11.1	12
		後期	169	15	8.9	9
	委託医療機関		22		12	
平成25年度	保健所	前期	168	14	8.3	11
		後期	170	12	7.1	6
	委託医療機関		28		16	
平成26年度	保健所	前期	168	13	7.7	6
		後期	162	14	8.6	6
	委託医療機関		38		20	

(3) 特別措置法に基づく各種手当での支給状況

表6-(3) 特別措置法に基づく各種手当での支給状況

(単位:件)

区 分 \ 年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
総 数	147	152	150
医 療 特 別 手 当	5	5	7
特 別 手 当	1	1	1
原子爆弾小頭症手当	-	-	-
健 康 管 理 手 当	130	133	131
保 健 手 当	11	11	11
介 護 手 当	-	-	-
葬 祭 料	3	2	4
健 康 手 当	134	135	139

(注) 健康手当は、県単独事業であり総数に含まず。

7 肝炎治療特別促進事業

(1) 肝炎治療医療費助成状況

表7-(1) 肝炎治療医療費助成状況

(単位:件)

区 分 \ 年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
肝炎治療医療費助成	56	58	74

※ 新規認定のみ